

淀川水系神崎川下流ブロックの流域の概要について（概要版）

平成 25 年 12 月 16 日（月）
平成 25 年度 第 8 回
大阪府河川整備審議会

資料
3-2

神崎川・中島川・左門殿川・西島川の現状

- この地域は古代には「難波江」と呼ばれる海であった。それ以降、淀川や大和川などの土砂が堆積して「なにわの八十島」が形成された。江戸時代にはいると、埋め立による造成や新田開発が行われ、堤防整備などの治水事業が行われた。
- 延宝 6 年（1678 年）の「中島大水道」の整備と明治 11 年の神崎川の付け替えにより、現在の流路が形成された。
- 昭和 9 年の室戸台風、昭和 25 年のジェーン台風、昭和 36 年の第二室戸台風により大水害となった。特に室戸台風では、神崎川の中島町、西島町の堤防が決壊し、浸水区域は西淀川区の全域に及んだ。また、ジェーン台風では、西島町、出来島町、中島町、大野町、百島町の堤防が決壊した。
- 阪神淡路大震災では、西淀川区において人的な被害は無かったものの、液状化等により家屋、公共土木施設などに多数の被害が発生した。



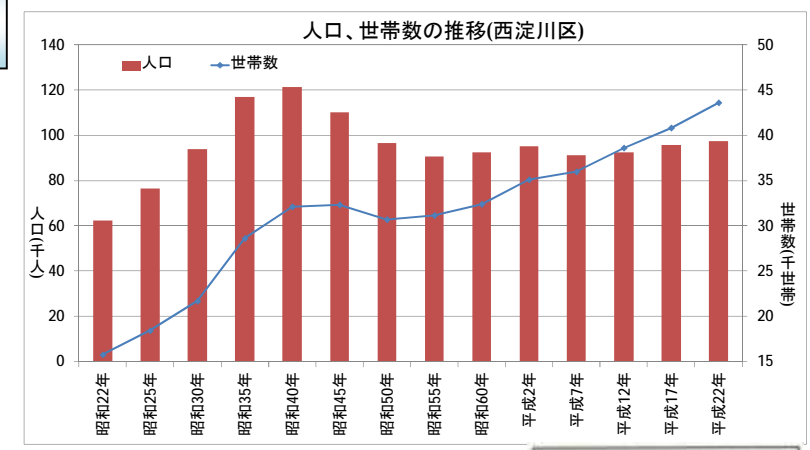
水系名	流域面積 (km ²)	指定区間延長 (km)
神崎川	591.1	7.10 (ブロック内)
中島川	---	2.82
左門殿川	---	2.57
西島川	---	1.49
合計	---	13.98



神崎川下流ブロックの特性

○社会特性

- 江戸～明治時代後半には、水辺に近いことから、農・漁村として発展した。
- 明治後半～昭和 40 年代半ばには、工業地帯として発展したが、一方で、公害が社会問題になった。
- 昭和 40 年代半ば～現在にかけて、様々な取組みにより公害から再生し、良好な居住環境の街へ変化している。
- 人口は、昭和 40 年から昭和 50 年にかけて工業の衰退とともに、減少した。その後は、住宅地として発展し、横ばいあるいは微増の傾向が見られる。



○水環境

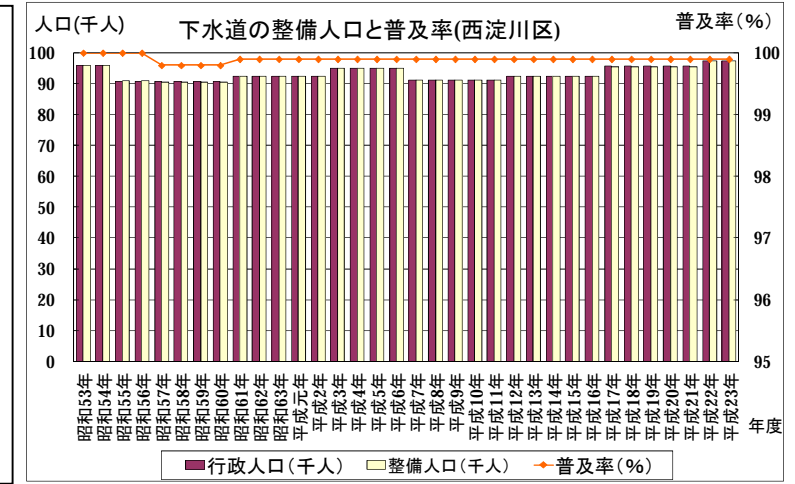
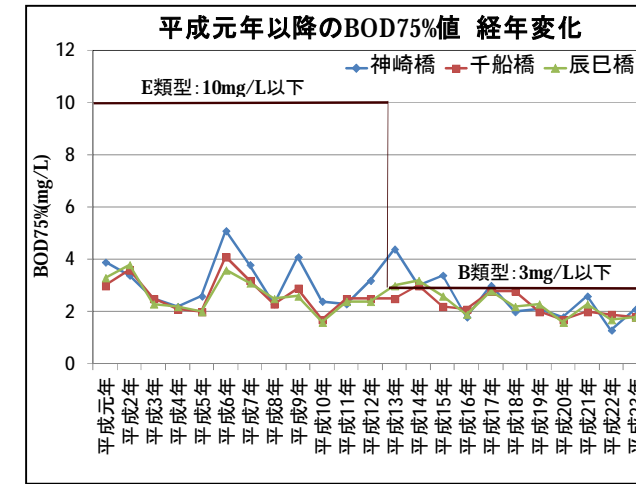
- 神崎川「神崎橋」と「千船橋」、左門殿川「辰巳橋」の 3 地点で水質を観測し、平成 16 年以降は環境基準の B 類型を達成している。
- 神崎川下流ブロックの大半を占める大阪市西淀川区は、大野処理区域（単独下水道計画区域）に属し、下水道普及率は、概ね 100%に達している。



「平成 17 年度土地利用現況調査」大阪市計画調整局 平成 17 年

凡例 LEGEND

- 一戸建て住宅
- 長屋建住宅
- 共同住宅
- 販売商業施設
- 業務施設
- 文教施設
- 医療・厚生施設
- 遊園・娯楽・スポーツ施設
- 宿泊施設
- 工業施設
- 供給・処理施設
- 運輸・通信施設
- 公署等施設
- その他施設
- 公園・緑地・墓地等
- 建物のない土地



○空間利用

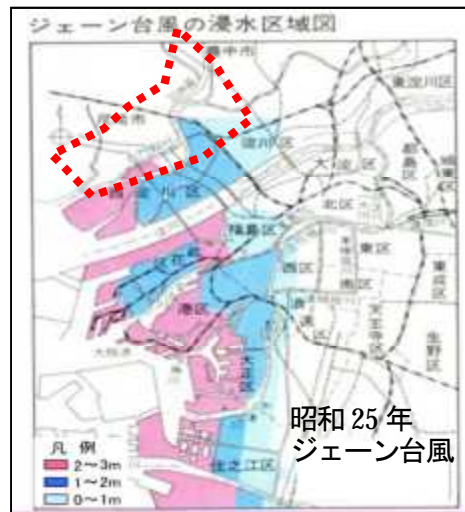
- 神崎川及び中島川河口は、大阪湾に近いので、河岸に荷役施設が設置され、航路として利用されている。
- 防潮堤により、高水敷へ容易にアクセスできないが、「なにわ自転車道の一部」や「佃防災船着場」では、水辺へ近づけるように整備されている。
- 地域に愛され大切にされる川づくりを目指し、自発的な地域活動を河川の美化につなげる「アドプト・リバー・プログラム」については、3団体と協定を締結している。

治水事業の概要

- 神崎川ブロックの治水目標である 1/40 確率の流下能力の確保を目的に河床掘削を実施している。
- 高潮対策として、伊勢湾台風と同規模の大型台風が大阪湾に最悪のコース（室戸台風の経路）を通して、満潮時に来襲したことを想定した防潮堤が整備済みである。（計画防潮堤高 O.P.+8.10m~O.P.+6.80m）また、堤防高が不足する箇所では防潮鉄扉が設置されており、西島川では防潮水門が整備されている。
- 神崎川下流部においては、平成 21 年 3 月に策定した「大阪府都市整備部地震防災アクションプログラム」に基づき、上町断層等の直下型地震や近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震等の海溝型地震に対応した耐震補強を実施している。
- また、南海トラフ巨大地震で想定される地震・津波による河川構造物の照査を実施しており、防潮堤については、対策箇所の重点化、優先順位付けを行っている。
- 「津波・高潮ステーション」を通し、多くの人々に津波・高潮に対する正しい知識を習得してもらい避難の重要性や事前の備え、地域コミュニティの必要性等を認識してもらえよう啓発を進めている。
- 震災を契機に大災害時の緊急物資輸送路として、佃防災船着場及び西島防災船着場の整備を行った。また、佃防災船着場は、平常時には水辺に親しむことができる場となっている。



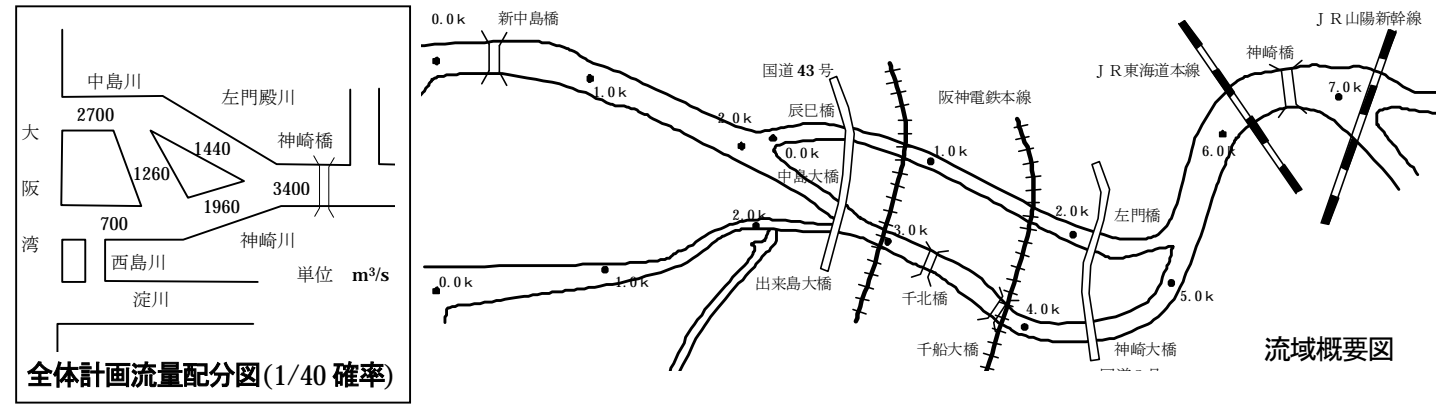
阪神・淡路大震災による被災状況



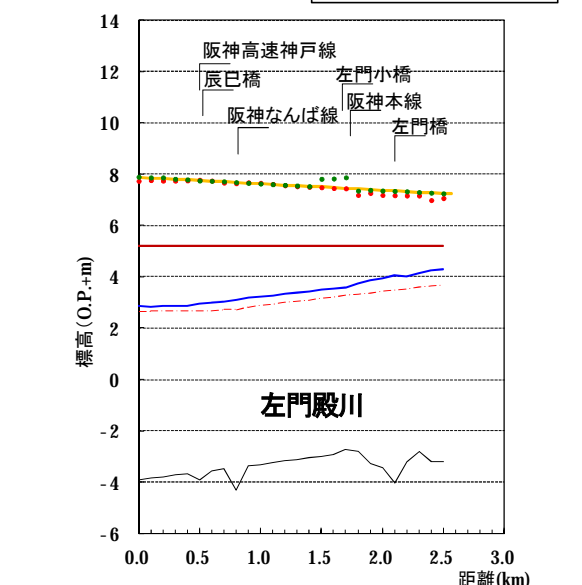
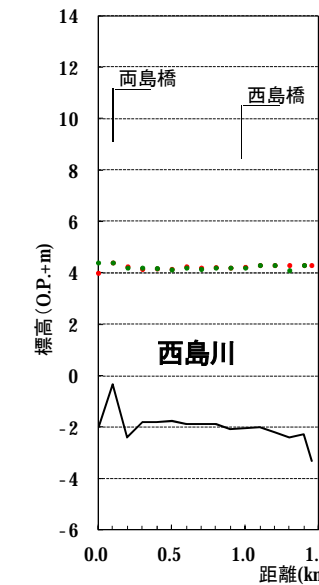
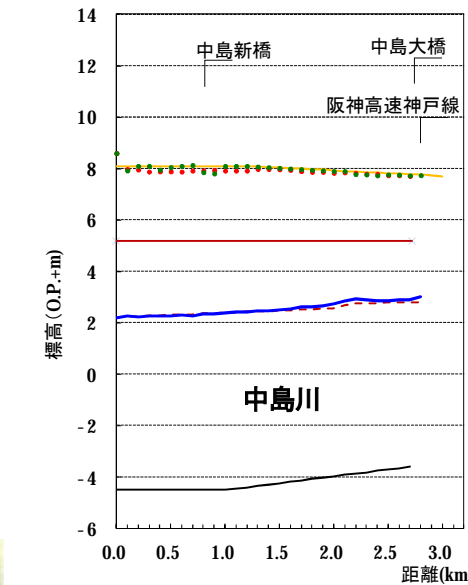
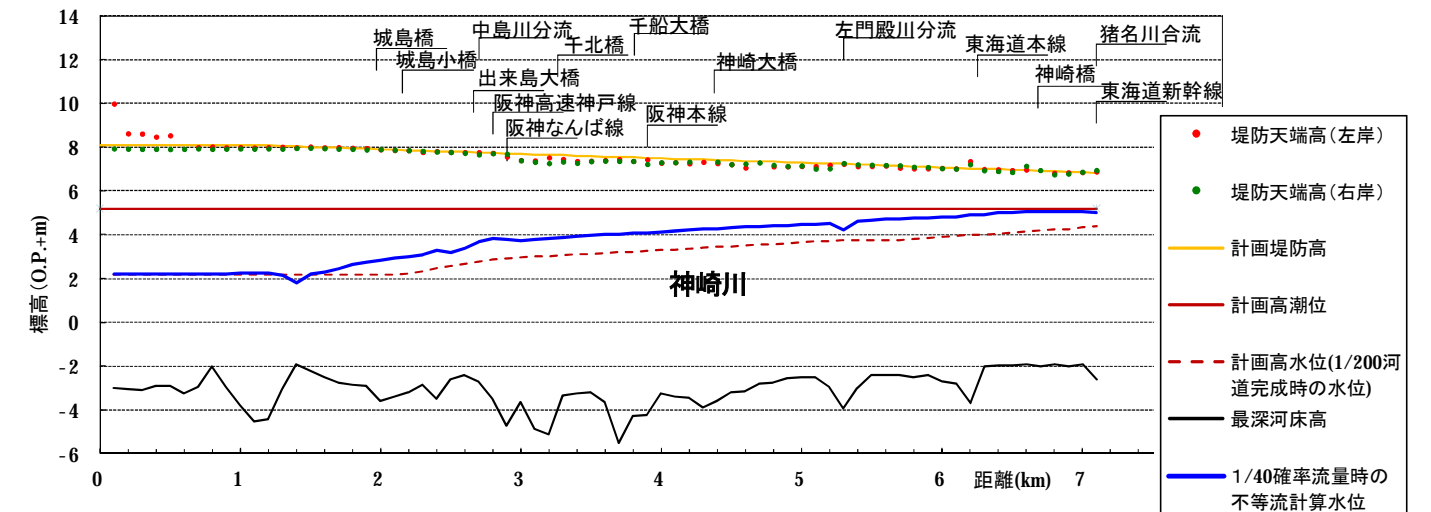
出典：「西淀川区史」西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会 平成 8 年 3 月

高潮による浸水実績図

出典：「西大阪地域高潮対策」大阪府土木部河川室 平成 14 年 3 月



流域概要図



水位縦断面図 (1/40 確率流量時)



第二室戸台風による被災状況写真

出典「西淀川今昔写真集」西淀川区制 70 周年記念事業実行委員会 平成 7 年